

毎小学生新聞

タイム
トラベル

毎小80歳まで

16
日

2000年

ガングロ、厚底ブーツ流行

このころ東京の渋谷や池袋で、顔を黒く塗り、目の周りを白く腫む化粧をした「ガングロ」(顔黒)の少女たちが出現しました。日本では昔から色白を好み文化があるため、衝撃が走りました。また、靴底の厚さが10センチほどの「厚底ブーツ」も流行しました=写真。



曜日の午後、無料の親子日本語教室開催

NPOが無料の教室開催

東京都荒川区のNPO法人「多文化共生センター東京」では、毎週土曜日の午後、無料の親子日本語教室を開催しています。

長い外国生活の後に日本に来ると、最初は日本語がわからず、学校の勉強についていくのも大変です。お父さんやお母さんも、日本語がわからないと、学校からの手紙を読んだりできず苦労します。そんな親子のために、日本語教室が開かれています。

【大井明子】

親も子も一緒に勉強



イラスト入りのカードを使って日本語の勉強をする
中国から2か月前に来たという小2の女の子(左)

た。
た。

今年2月に中国から来たという小1の女の子は、まだクラスの友達とのクラスに中国人の友達がいて、日本語ができるので、助けてもらっています。そのうえ、「勉強は大変。算数の計算はできるけど、先生の話がよくわからない」と話してくれました。

いろんな国の子がいるよ!②

を開いています。10月下旬のこの日は、中国やタイ、フィリピン、ジル、シリアなどから日本に来たばかりの子どもたちや、そのお母さんたち約20人が集まりました。

子どもたちやお母さんたちにはそれは、ボランティアの日本語の先生が付きます。日本語のワークブックをやったり、学校の宿題をしたり、イラスト入りのカードを使って

単語を勉強したりしています。

フィリピンから日本に来て約1年という小6の男の子は、「日本語は漢字が難しくて大変。でも、英語や理科は得意で、リポートをノートにまとめたりするのは好き」と話していました。この日は先生に見てもらいながら、算数の宿題をしていました。

言葉がわからず苦労



改憲の国民投票で敗北

イタリアで4日、議会の規模を縮小するなどの国際改革をするための憲法改正への賛否を問う国民投票がありました。開票の結果、反対派が賛成派を大差で上回り、改憲を否決しました。改革を進めてきたレンツィ首相は敗れたことを認め、辞任を発表しました。

オーストリアは難民保護派

オーストリアでは4日、大統領選の決選投票がありまし

た。オーストリアには、昨年以来10万人を超える人が中東などから難民申請してお

り、国民の反発が強まっていました。しかし、イスラム教徒を受け入れない極端な主張をした対立候補は支

持されませんでした。



大統領選で勝利

オーストリアでは4日、大統領選の決選投票がありまし

た。難民保護を訴える緑の党(72)が当選を確実にしまし

た。オーストリアには、昨年以来10万人を超える人が中東などから難民申請してお

り、国民の反発が強まっていました。しかし、イスラム教徒を受け入れない極端な主張をした対立候補は支

持されませんでした。



特派員募集しています



毎日小学生新聞(毎小)は、1936年創刊。日本で最も歴史のある子ども向け新聞です。これまで小学生記者たちが活躍していました。毎小では紙面作りに参加してくれる特派員を募集しています。対象は小学1年生~中学3年生。特派員になると、自分が体験したことなどをリポートに書い

て写真とともに送る「走れ! 每小特派員」、あこがれの人と直接会ってインタビューできる「あの人に会った」のコーナーへの参加ができます。

「あの人に会った」
会いたい人を書いて送ってね

「あの人に会った」では、これまで、卓球の伊藤美誠さん、宇宙飛行士の古川聟さん、女優の波瑠さん、サッカー選手の大久保嘉人さん、将棋棋士の佐藤天彦さんなど

に特派員がインタビューしました。貴重な経験ができるチャンスです。

特派員のみなさんは、会いたい人の名前をハガキに書いてどんどん応募してくださいね。

あて先はいずれも、はがきに住所、名前、学年、電話番号を書いて 〒100-8051(住所はいりません)毎日小学生新聞編集部「特派員登録係」か「あの人に会った係」まで。

